

一般質問通告書

受領日時 令和 8年 2月 17日 午前10時30分 7番 氏名 石川 重光

質問項目	質問の要旨
1 買い物支援と地域活性化について	<p>本町部スーパーの閉店に伴い、地域住民は日常生活に不便を感じている。食料品や生活必需品を購入するための店舗の減少により、移動手段を持たない多くの町民にとって健康や生活の質、さらには地域社会の持続性にも影響を与える大きな課題と言っても過言ではない。</p> <p>(1) 民間と連携し、テナント募集によるコミュニケーションスペースと食品加工販売施設を兼ね備えたスーパーマーケットの開設はできないか。</p> <p>(2) ネット販売も含めた五城目らしい食材商品「朝市セット（仮称）」を取り扱う店舗として位置づけ、集客を図り、地域の賑わいの創出と全国に五城目朝市のPRに努め、町の活性化を推し進めることは出来ないか。</p>
2 高齢者が安心して暮らせる地域づくりについて	<p>(1) 少子高齢化が急速に進む本町にあって、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来る環境を整備することは大きな課題である。</p> <p>特に在宅での生活を支えるサービスや地域での孤立を防ぐための取組について、町における高齢者支援の具体的な取り組みとして、現在どのような施策が実施され、その効果をどのように評価しているか。</p> <p>(2) 高齢者の暮らしの実態を把握し、効果的な施策につなげていくということが重要である。高齢者の生活状況をどのように把握しているか。</p> <p>(3) 高齢者の社会参加を促す取り組みは、高齢者福祉の重要な柱の一つである。高齢者の豊富な経験や知識を活かし、高齢者と若者が交流できる場の創出に力を入れ、高齢者の孤立防止や生きがい創出に寄与するだけでなく、若い世代にも貴重な学びの機会などを与えている。町の取組は。</p>